

【 会 議 録 】

作成日	令和4年11月30日	作成者	環境推進課
会議名	令和4年度 刈谷市環境審議会		
日 時	令和4年11月10日(木) 14時～15時30分	出席者	別添のとおり ・委員 10名 ・事務局 7名
場 所	市役所3階 301会議室		
資 料	別添のとおり		
議事内容	下記のとおり		

【開会】

◆会長選任まで環境推進課長により進行

【あいさつ】(産業環境部長)

【議題】

(1) 会長、副会長の選任について

委員から立候補や推薦がなかったため、事務局から会長、副会長の案を提示し、意義なし→それぞれ選任

【あいさつ】(会長)

◆ここから会長により進行

(2) 「令和4年版 刈谷市の環境」について

説明の前に事務局から資料の訂正

- ・P97 (イ) その他、環境配慮行動に関する項目
グリーン購入達成率 令和3年度(実績)
誤) 70.8% (△15.4%) → 正) 82.0% (△4.2%)
- ・P102 (4) 刈谷市グリーン購入調達実績 (別添「修正版」参照)
- ・P109 (1) 刈谷市の部門別CO₂排出量の推移

下表中の最下段

誤)	2019年度	増減	
		排出量	基準年度比
	1,212,040	-228,413	-15.9%

正)	2019年度	増減	
		排出量	基準年度比
	<u>1,211,903</u>	<u>-228,550</u>	-15.9%

【 会 議 録 】

資料に基づき事務局から説明（第1章～第14章）

◆意見・質疑

- 委員 : P10の「1人1日当たりのごみ排出量」は、目標値が「830g/人・日」となっているが、どういう根拠か。現状値からは厳しいように見えるが、このままで達成が見込めるのか。何か別にアクションをするのか。
- ⇒事務局 : 総合計画の目標値を準用しており、具体的な施策を想定して設定しているものではなく、漠然とした数値である。
- 委員 : P107の「刈谷市における2030年度のCO₂削減目標」は2013年度比26%削減としているが、P109で現時点の数値が15.9%となっている。こちらでもこのままで達成が見込めるのか。何か別にアクションをするのか。
- ⇒事務局 : 26%という数値は国の目標数値を準用しているが、法改正により国は46%削減という目標となっている。実際には国のエネルギー政策の比重が大きく、達成は簡単ではないが、CO₂削減に特化した『刈谷市環境都市アクションプラン』を今年度と来年度で改定するため、その中で市民の方にもわかりやすいものを策定していく。
- 委員 : CO₂の削減について、2030年度に46%というだけでなく、中間目標も設定した方がわかりやすいのでは。
- ⇒事務局 : 国は2050年には100%削減としており、その中間として2030年に46%を設定している。国の政策が大きく影響するものであり、国から示されていない状態では適切な計画が設定できない恐れがある。いずれにしても、見る人がわかりやすい計画としていく。
- 委員 : 『刈谷市の環境』を読み進めていくと、それまで和暦が主だったものが、P107で急に西暦表記になっている。市民がわかりやすいものとするのであれば、併記してもいいのでは。
- ⇒事務局 : 併記する。
- 委員 : クリーンセンターにごみをよく持っていきが、スプレー缶の蓋はプラスチックのはずなのに「包装容器だ」と、用途として指示を受ける。分別の基準がわかりにくいと、「よくわからないから可燃でいいか」としてしまう気持ちもわかり、市民としては困っている。
- 委員 : P44で(2)と(3)の表中の数字が一致しない。
- ⇒事務局 : 修正する。
- 委員 : P10の「リサイクル率」には、スーパーなど民間が回収したものは含まれているか。
- ⇒事務局 : 市が回収したもののみである。
- ⇒委員 : 説明にその旨記載すると、よりわかりやすい。
- 会長 : P107からの「アクションプラン」について、先ほども話に出たが改定版の

【 会 議 録 】

- 完成はいつになるか。
- ⇒事務局 : 令和6年3月の予定である。
- ⇒会長 : 愛知県でも計画の見直しが進んでいるが、具体的な内容はどう議論されているか。
- ⇒事務局 : 現在は現行プランの進捗と達成状況を取りまとめ、改定の方向性を検討している段階であり、具体的な内容はこれからである。
- ⇒会長 : 2030年はそう遠くない未来であるので、改定を待たずとも、やれるところからやっていくべきと考える。
- ⇒事務局 : 改定はするものの、進む方向が180度変わることはない。改定版の完成前でも、やれるものから事業を進めていく。

(3) その他

- ・アクションプランの改定について
資料に基づき事務局から説明
- ・今日の内容についてご意見あれば事務局へご連絡をお願いしたい。
- ・今年度の会議は今回のみの予定であるが、現在の第2次環境基本計画は令和6年度末で終期を迎えるため、令和5年度及び6年度の2か年をかけて、第3次計画を策定していく。その2年は年3回ほどの開催予定であるため、ご承知おきいただきたい。日時など詳細が決まり次第、改めて事務局から出席依頼をする。
- ・例年、冊子にした『刈谷市の環境』を委員に郵送していたが、紙の削減のため今年から配布しない。必要に応じて市のホームページから確認いただきたい。

◆意見・質疑（すべてアクションプランの改定について）

- 委員 : 過去には電気使用量の減に応じて市からポイントを付与される事業があったと記憶している。制度開始1~2年はがんばって取り組んだが、長期的にはやれなかった。一市民として、CO₂削減に参加・協力できる取組を示してくれるといい。
- ⇒事務局 : エコポイント事業のことだと思うが、事業者の撤退により終了したものである。その代わりではないが、令和3年度からエコフレンドリー事業を開始するなど、啓発として様々な講座を開催している。環境教育には力をいれていきたいと考えている。
- ⇒委員 : 個人的には講座は大賛成であるが、参加した人に効果がほとんど限定されてしまう。例えば、ごみの減量について。市の指定袋は「燃やせるごみ」と「プラ容器」と「紙容器」があり、それ以外は市が無料配布している麻袋とされている。「燃やせるごみ」袋は有料のままでよいが、「紙容器」袋は店によっては置いてないところもあるほど、使用率が低い。汚れたものは燃やせるごみとしていいルールであるが、汚れの有無によらず全部燃や

【 会 議 録 】

せるごみとしているケースもある。その「紙容器」袋の利用率を上げるべく、定期的に無料で配布するなどしてはどうか。

ごみは市民にとってとても身近なものである。この分野でCO₂削減に意識的に協力できればと思う。

⇒事務局 : 他の自治体では配布しているところもあるが、刈谷市では現在市販としている。どうすることが一番望ましいか、検討をしていきたい。また、わかりにくく意欲を削がれるということも貴重な意見として受け止める。

委員 : 建設業者としては、日中に工事を行うといろいろとご迷惑をかけていると思うが、線路の工事は夜中に行われる。道路工事も交通量が少ない時間帯に行うことができれば、余計な渋滞によるCO₂の排出も減り、迷惑をかけることも少なくなって望ましいとも思う。

委員 : 女性の会では、令和3年度から段ボールコンポストに取り組んでいる。生ごみを堆肥化することが広がればとてもいいと思う。市では通常のコンポストや生ごみ処理機の購入費に対する補助が行われているが、段ボールコンポストも対象に加えてもらって、市が広報することができれば効果的だと思う。

⇒事務局 : 段ボールコンポストは家庭にあるもので行えるということで推奨されている。年1回の市民向けの講座でも好評であり、検討をしていきたい。

⇒委員 : 幼稚園や保育園の子どもが親と一緒に取り組むと学びにもなる。その肥料で花が咲いたりして、いろいろな面で効果があると思うので、ぜひ検討してもらいたい。

会長 : アクションプランにおいて、取組ごとにCO₂がどれだけ減ったかを計ることは困難で、そこから全体の数値目標を立てることは難しいと考えるので、重点的に取り組むモデル地区を設けると市民にもわかりやすいのではないかと。集中的に行うことで成果も見えやすく、財政部局の理解も得られやすいため予算措置も見込まれやすい。地区住民の理解が必須となるが、3年くらいで計画をたてて、取り組む前と後で比較することで事業効果が見える化できる。アクションプランに限らないが、初めから市全体を対象として行っていくのではなく、重点地区から始めて、そこから全体へ動きを広げていくことが望ましいと考える。アクションプラン推進会議にも、重点地区を置くことを提案してみたいので、事務局に検討いただきたい。

⇒事務局 : 相談させていただきながら、検討したい。

【閉会】

以上